

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



台湾製AV機器に、町田市のオーディオテクニカ製マイクロフォン

東京ビックサイトに出向きましたが、この記事は前回5月総集号の続きになります。東西の展示場を使ったもので大規模なITWeek 春2025を見学しました。日頃は新しいソフトウェア技術に注目することが多いのですが、今回はハードの技術に注目しました。見学したのは、台湾のメーカーEveFocusのものでした。



EveFocusのARECは、会議室のAV設備装置でしたが、町田市のオーディオテクニカのマイクロフォンが使用されていました。説明によると、音声文字化の際に、高機能なマイクロフォンの方がより正確に文字変換が行えるというものでした。オーディオテクニカの当社は町田市成瀬にあり、世界的に有名な音響機器メーカーの地場企業としてなじみの企業でもあります。台湾メーカーの音響製品に、オーディオテクニカのマイクロフォンが使われていることに喜びを感じ、また誇りを感じました。



つくし野ビオトーププロジェクトの野菜の収穫作業に楽しく参加

参加費無料、収穫の野菜は分けて持ち帰り

つくし野ビオトーププロジェクトは活動20年を迎えており、定例活動と特別活動で年間25ほどの日程が組まれていました。定例活動は年間日程で日にちが決められており、特別活動の開催日は天候や野菜の育ち具合で若干の流動性があるようでした。実際に私が参加しているのは年に1-2回程度ですが、このプロジェクトは小池さん以外にも常任的な支援者やこの農地を提供されている地主さんの理解もあって続いているようです。



つくし野ビオトーププロジェクトは、命の大切さを経験的に学ぶ活動を展開しており、年間を通じて、様々な野菜を植え、収穫をしています。一番人気があるのはジャガイモの収穫(7月)だそうで、以前に参加したことがあるサツマイモの収穫(11月)も大変人気がありました。特に、大きな芋、小さくたくさんの芋がくっついているものなど、その多様さが人気でした。もちろん、野菜を育てるには、畝を起し、種を撒き、たい肥を施し、水やりをして成長期を見守り、収穫に向けるものです。自然ですから、ネズミが根菜を狙い、青虫が葉物をおいしく喰っていきますが、それを含めて生き物の営みと理解するべきでしょう。この日のレクチャーでは、レタスを虫が避け、キャベツやブロッコリーを好むことを学びました。これらの野菜の見た目は似ている野菜ですが、違った科目だとのことでした。

*その日の我が家の夕食には収穫野菜がたくさん並ぶ

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第55期生が終了しました。

町田市の国民健康保険料の額について

国民健康保険料の負担が大きいと言う話をたびたび聞きます。まず、金額の上限は以下の数表(町田市HPから必要部分を転載)の通りです。国民健康保険の加入は、基本的に「社会保険(健康保険)」に入らない人たち(自営業や年金者など)に義務的に課されるものです。下記の表にあるように、負担額は、当事者の所得に関わる比重が多くなっており、最高額は、百六万円!となっています。なお、別途、災害被災者などに減免、低所得者への減額措置があります。

町田市の国民健康保険料率(単位:円)

項目	所得割	均等割	限度額
A:医療分	6.61%	38,900	650,000
B:支援分	2.22%	12,900	240,000
C:介護分	2.00%	15,000	170,000
合計数値	10.83%	66,800	1,060,000

*市HPには令和6年度料率が掲載されている

国民健康保険の運営については、その一部は町田市の財政から出ており、社会保険(健康保険)加入者に対して、不公平をただす観点から国民健康保険料によって賄う原則から、所得割と均等割りの上限が、その改定時期ごとに引き上げられていますが、他の手段も同時に取られないと、負担者(特に、高額負担者)の反発が大きくなるでしょう。

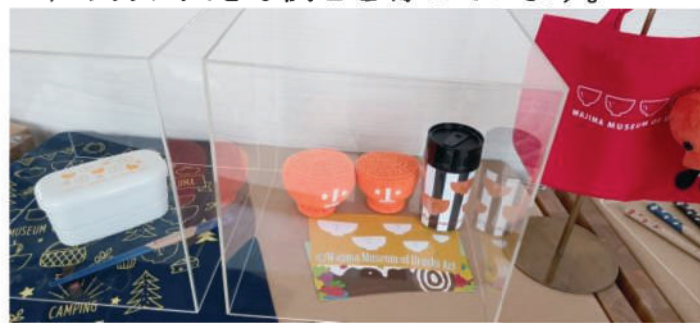
輪島塗の現状と未来の展望④

奥能登を巡り、ライフラインと産業を視察

この記事は、「輪島塗の現状と未来の展望②」の続きであるとともに、5月特集号の「東京都と地方の違い、町田市に都政無し」の続きの側面も一部あるので、「輪島塗の現状と未来の展望④」としました。

肝要なことは、輪島塗業界に就業することで相応の収入があること、トップクラスの人はそれに見合った収入を得られること、一定の期間、その分野で必死に努力したら、一般企業の就業者や地方公務員と同等の賃金や報酬を手にすることができる必要があります。

それぞれの産業・業界に人が就業して相応の収入を得られることで、その業界に人が定着し、人が集まることができるものです。それができない産業、業界はそれに集まっていた人々が一定以上の豊かさを確保されないままに至り、それが放置されると、産業として衰退、絶滅する以外に道はないものであり、数々の産業分野でその盛衰を見られるものです。私は、博多人形界に就業し、妻は博多織業界に就業し、その業界の繁栄から、衰退に至る、絶滅危惧種的な盛衰を共に体験しました。そうした観点から、輪島塗の産業としての在り方に大きな関心を寄せています。



ここから進化した輪島塗製品の誕生を期待

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年3月末までに111名が参加しました。

◎第55期インターン生の森田瑛斗さんは、医師国家試験に合格し、4月1日から研修医として社会人。

◎次回のインターンシップは、2025年夏季第56期生の募集を開始しました。